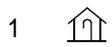


第19回 地形図と統計資料の読み方 基本問題

- 1 地形図は、ふつう上が()を示してるが、そうになっていない場合は()を使って示します。
- 2 東・西・南などの方角のことを()といい、北と東の間は()、南と西の間は()となります。
- 3 土地の傾きをあらわすには()を使います。()からの高さの等しいところを結んだものです。東京湾の平均を基準としています、ここからの高さを()といいます。
- 4 3の線の間隔がせまいとかたむきは()で、広いほど()です。
- 5 実際の長さ(距離)を縮めた割合を()といい、実際の距離1 kmが地図上で4 cmとしてあらわされる場合は、()分の1となります。
- 6 3の線は50,000分の1の縮尺の地図では()mおきに、25,000分の1の地図では()mおきにひかれています。
- 7 国土を測量して地図を作成しているところは()で、()省のもとにおかれています。
- 8 江戸時代に日本全図を作成したのは、()です。

9 次の1～12の地図記号が示しているものを、それぞれ答えなさい。



[

][

][

][

]



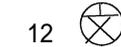
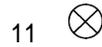
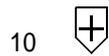
[

][

][

][

]



[

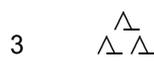
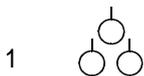
][

][

][

]

10 次の1～8の地図記号が示しているものを、それぞれ答えなさい。



[

]

[

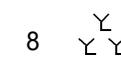
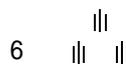
]

[

]

[

]



[

]

[

]

[

]

[

]